

2023 年 1 月 16 日

報道関係各位

丸紅アーキログ株式会社

BIM モデル標準化を進める大林組 自社ルール公開サイトで「Arch-LOG」と連携 ～企業間の壁を越えた BIM モデルの一貫利用 狙いは建設プロセスの生産性向上～

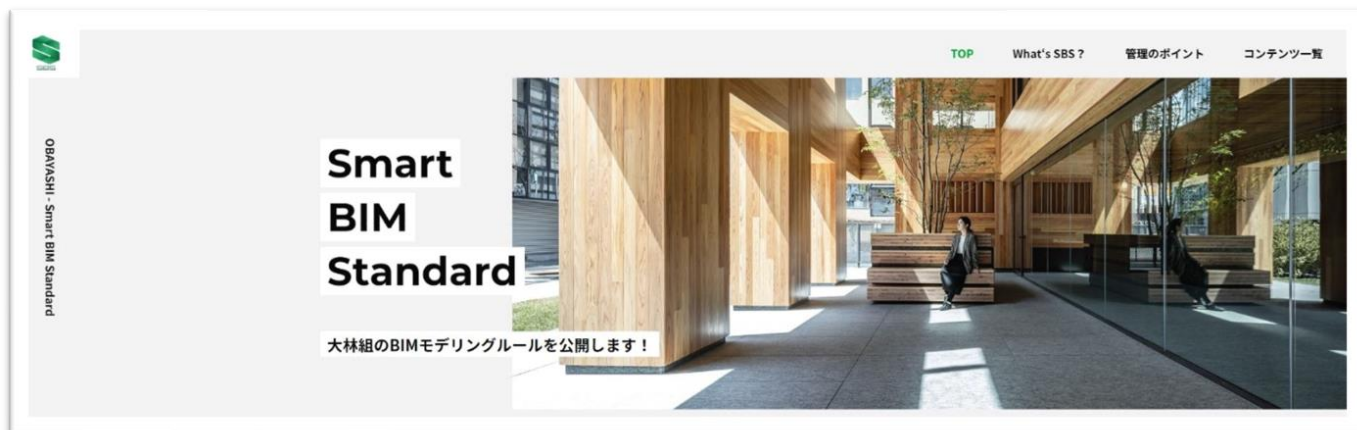
建設・建築業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）に挑戦する丸紅アーキログ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三川 亮、以下：当社）では、1 月 16 日（月）に株式会社大林組（本社：東京都港区、代表取締役社長：蓮輪 賢治、以下：大林組）が期間限定で一般公開した BIM 一貫利用のためのモデリングルール「Smart BIM Standard[®]、以下：SBS」特設サイト（<https://smartbimstandard.com/>）と連携した、ファミリ※やテンプレート、マニュアルなどの「ダウンロードページ」に当社が運営する建設・建築業界のためのデジタルデータプラットフォーム「Arch-LOG（アーキログ）」のシステムが採用されました。

※ファミリ…構造材、壁、屋根、窓、ドアから、製図に使用する記号など、BIM ソフト「Revit」のプロジェクトに追加する全ての要素の総称です。

BIM は、「Building Information Modeling（ビルディング インフォメーション モデリング）」の略称で、コンピュータ上に作成した 3 次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建築の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で活用するためのソリューションです。政府も 2022 年度に大規模構造の全ての工事に原則適用するなど、これからの建設 DX において重要なソリューションと言えます。

しかし、BIM モデルのモデリングルールは標準化、公開されたものが少なく、発注者から専門工事会社まで異なる事業者を横断した BIM の活用が進まない要因となっています。そこで大林組では、設計・施工を通じた BIM の一貫した利用に向けて、2018 年にプロジェクト関係者が等しく理解できる BIM モデルをつくるための基準として「SBS」を策定し、社内ルールとして、これまで多くのプロジェクトに利用してきました。

今回、大林組が公開した「SBS」の特設サイトでは、各事業者が「SBS」のコンセプトを理解し、同じ考え方に基づいて具体的なファミリやテンプレートも参考にしながら、それぞれがルール化していくことを目指しています。同サイトは、「SBS」を理解するためのコンセプトなどを説明する「一般公開ページ」と、当社の「Arch-LOG」のシステムとつながる「ダウンロードページ」で構成されています。「ダウンロードページ」から「Arch-LOG」に遷移すると、特設サイト内で指定されているファミリ、テンプレート、マニュアルなどをダウンロードすることができます。コンテンツは随時追加される予定です。



大林組では、「SBS」の公開を通じた BIM モデル標準化への取り組みにより、企業間の壁を越えた BIM の一貫利用を推進し、建設プロセスにおける生産性向上への貢献を目指しています。建設・建築業界全体の DX に挑戦する当社は、今後も「Arch-LOG」を活用した各事業者のこうした取り組みに、積極的に貢献してまいります。

■「Arch-LOG」とは

当社が提供する建築建材業界の DX を促進するプラットフォームです。検索ワードを入力するだけで、200 万点近い建材の中から、複数のメーカー製品を PC 上で横断的に比較しながら、必要な建材を選定することができます。さらに、それらの建材をスペックインしたマテリアルボードの作成や、リモートでのプロジェクト関係者との会議など、建材選定におけるあらゆる工程が WEB 上で可能となります。BIM を設計から生産設計、施工管理まで一貫して利用するためには、建築に関わる関係者全員が、一つの BIM モデルを作り上げていくこと（BIM モデリング）で、常に最新で正しい情報を共有し、効率的に活用していくことが重要になります。

<株式会社大林組 会社概要>

代 表 者 蓮輪 賢治（代表取締役社長）
所 在 地 東京都港区港南 2 丁目 15 番 2 号
創 業 1892 年 1 月
設 立 1936 年 12 月
事業内容 国内外建設工事、地域開発・都市開発・その他建設に関する事業、及びこれらに関するエンジニアリング・マネジメント・コンサルティング業務の受託、不動産事業ほか
U R L <https://www.obayashi.co.jp/>

<丸紅アーキログ株式会社 会社概要>

代 表 者 三川 亮（代表取締役社長）
所 在 地 〒105-0023 東京都港区芝浦 1-3-3 浜松町ライズスクエア 2 階
設 立 2019 年 6 月 27 日
事業内容 建設業界向けデジタルデータプラットフォーム「Arch-LOG」の運営 <https://www.arch-log.com/>
建築建材の“価値”と“想い”をストーリーで語る WEB メディア「Arch-MATERIA」の運営 <https://arch-materia.com/>
U R L <https://m-arch-log.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

広報担当：梁瀬

TEL：03-6381-7270 E-mail：hideyuki.yanase@m-arch-log.com